

第 7 回レドックス・酸化ストレス・フィトケミカルズ生体計測研究会

7th B-ROPs (Biometrics of Redox, Oxidative Stress and Phytochemicals Study Group)

～Web(Zoom)・現地開催～

日 時: 2025 年 8 月 1 日(金) 13 時 00 分～

会 場: 島根大学医学部出雲キャンパス
医学図書館 3F 視聴覚室

693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
TEL 0853-20-2284

会 費: 無 料

- ※ 著作権等の配慮から講演内容の録画・録音は禁止とさせていただきます。ご理解・ご協力の程お願いいたします。
- ※ 一般講演は講演 15 分、質疑応答 5 分とします。
- ※ 参加をご希望の方は以下の URL にアクセスいただき、申込フォームから参加登録してください。折返し『視聴画面URLのご案内 8 月 1 日第 7 回 B-ROPs 研究会』をお送りしますので Web でのご参加の方はこれによりご参加ください。

<https://forms.gle/X3DjuSRmg1Fyp3GS9>



- ※ 申込フォームからのお申込みができない場合は、メールでのお申込みも受け付けます。(氏名・ご所属を記載願います。)

shimane-oph2284@med.shimane-u.ac.jp 担当:高橋

- ※ 7 月 31 日(木)までに視聴画面URLが届いていない場合は事務局までご連絡ください。

B-ROPs 研究会事務局:

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

島根大学医学部眼科学講座内

TEL 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278

共催: B-ROPs 研究会・島根大学医学部眼科学講座・参天製薬株式会社

協賛: 株式会社 LLC ジャパン

開催挨拶(13:00-13:05) 谷戸正樹(島根大学・眼科学講座)

◎一般講演第1部 (13:05-14:25)

座長：海津幸子(島根大学・眼科学講座)

1. 緑内障と黄斑色素光学密度の関係について

○松村徳和¹, 朝岡 亮¹, 藤野友里², 尾花 明¹

1. 聖隷浜松病院眼科
2. 島根大学眼科学講座

2. 日本人におけるカロテノイド摂取量と皮膚カロテノイドスコアの関連

○岸本良美¹, 織田奈央子¹, 中田恵理子¹, 福島洋一²

1. 摂南大学農学部食品栄養学科
2. 大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科

3. 青年期の皮膚カロテノイドスコアと AGEs スコアの測定

○三浦綾子¹, 野末みほ¹, 中村美詠子^{2, 3}, 朝岡 亮⁴, 尾花 明⁴

1. 常葉大学健康プロデュース学部
2. 医薬基盤・健康・栄養研究所
3. 浜松医科大学
4. 聖隷浜松病院

4. 日本人妊産婦の皮膚カロテノイド密度

○尾花 明¹, 郷渡有子¹, 村越 毅², 今野寛子², 三浦綾子³, 野末みほ³, 朝岡 亮¹

1. 聖隷浜松病院眼科
2. 聖隷浜松病院産婦人科
3. 常葉大学健康プロデュース学部

◎一般講演第2部 (14:30-15:50)

座長：尾花 明(聖隷浜松病院・眼科)

5. 222nm Far-UVC 照射がヒト角膜および眼科的検査結果に与える影響

○海津幸子, 杉原一暢, 谷戸正樹

島根大学眼科学講座

6. 222nm UVC 照射後の眼不快感

○杉原一暢, 海津幸子, 谷戸正樹

島根大学眼科学講座

7. 落屑症候群の病態

○善岡尊文

旭川医科大学眼科学講座

8. NAD 生物学とアンチエイジング

○吉野 純, 神田武志

島根大学医学部腎臓内科

◎特別講演 (16:00-17:00)

座長：谷戸正樹 (島根大学・眼科学講座)

食事および生活習慣と認知症発症リスクの関係：久山町研究

二宮 利治 先生

(九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 教授,

九州大学大学院医学研究院附属総合コホートセンター 教授(兼任))

超高齢社会を迎えた日本では、認知症患者が急増し、医療や社会における深刻な問題となっている。福岡県久山町では、長年にわたり疫学調査（久山町研究）を継続している。本研究では、1985 年から 5-7 年ごとに 65 歳以上の全住民を対象とした認知症調査を実施し、その追跡データを用いて認知症発症に關与する危険因子の解析を行った。その結果、高血圧、糖尿病などの生活習慣病、喫煙習慣、孤独感や社会交流の低下など、複数の因子が認知症の危険因子として同定された。

さらに、食事と認知症の關係については、1988 年の住民健診で食事調査を受けた認知症のない高齢住民 1,006 人を 17 年間の追跡した成績を用いて、食事パターンと認知症発症の關係を検討したところ、野菜、大豆製品、藻類、乳製品、芋類、果物、魚の摂取が多く、米とアルコールの摂取が少ない食事パターンを有する者では、そうでない者に比べて全認知症の発症リスクが有意に低かった。

将来の認知症予防には、高血圧や糖尿病、喫煙といった危険因子の管理に加え、食習慣への配慮も重要であると考えられる。

本講演では、久山町における地域認知症コホート研究の成果を紹介する。

閉会挨拶 (17:00-17:05) 尾花 明 (聖隷浜松病院・眼科)

THE VEGGIE METER®

ベジメータ®（光学皮膚カロテノイド量測定装置、野菜摂取量評価装置）は、アメリカユタ大学の研究機関である Longevity Link Corporation（以下 LLC 社, Salt Lake City, Utha, USA, CEO: Werner Gellermann PhD.）が製造している第4世代の装置です。

LLC 社は 2000 年に世界初の非侵襲的光学皮膚カロテノイド量測定装置を発明し、2010 年にはイエール大学との共同研究で世界初の野菜・果物摂取量を評価する装置を発明し、皮膚カロテノイド量測定を含む「生物学的組織におけるカロテノイドの非侵襲測定」に関する特許（2012 年）を有しています。

2020 年にはアメリカ農務省の研究者らによるシステマティックレビューで「正確に野菜・果物摂取量を評価できる装置」として科学的な裏付けがなされており、世界中でゴールドスタンダードとして活用されております。Radtke et al. Adv Nutr., 11, 1282-1299 (2020)
過去 25 年間で LLC 社が販売した累計台数は全世界で 25,000 台以上に及び、延べ 2,400 万人以上の方が測定を受けており、世界 170 以上の研究機関で採用され 200 以上の科学文献(2025 年)が公表されている世界 No.1 の測定装置

